

# まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。

三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646

## 細田選手に特別功労賞

韓国の仁川で開催された第17回アジア大会トライアスロン競技の個人と混合リレーで金メダルを獲得した功績をたたえて10月28日、三好市出身の細田雄一選手に市特別功労賞が贈られました。

市長室での贈呈式で新居副市長から表彰状を受け取った細田選手は、「2020年に開催される東京五輪を最終目標に、メダルに向かって強い気持ちで進んでいきます。誰でも続けていけば夢はかなうことを伝えていきたい」とこれからの意気込みを力強く語ってくれました。



## プロと触れ合うサッカー教室

体を動かす楽しさや仲間と協力して運動することを通じて体力の向上や絆づくりにつなげていこうと10月21日、徳島ヴォルティスから2人のコーチをお招きし、池田第一保育所でサッカー教室が開催されました。池田第一保育所と池田第二保育所の4歳児と5歳児46人が鬼ごっこやボールを使ったいろいろな運動をしながら、とても楽しそうに園庭を走り回っていました。中には、「将来はサッカー選手になる」と夢を語る男の子の姿に指導するコーチも優しくほほ笑んでいました。

## 祖谷平家まつりで創作劇を熱演

10月26日、西祖谷山村のかずら橋夢舞台で祖谷平家まつりが開催され、平家落人伝説を題材にした創作劇と加羅宇多姫物語の演劇、襖からくりや祖谷衆太鼓の演奏など祖谷の郷土芸能が披露されました。

創作劇では、地元住民グループ・祖谷18人会や東祖谷の小中学生らが「二人の安徳」を堂々とした演技で熱演し、観客を魅了しました。終演後、恒例の武者行列が行われ、訪れた大勢の観光客らは優雅で勇壮な姿に見入っていました。



## 地元の食材を使いモザイクアート完成

三好市の古民家を活用して、県内外の芸術家によるアート作品の展示やワークショップなどを行う第2回マチトソラ芸術祭が、池田のうだつの町並みや東祖谷の落合集落を舞台に10月11日～11月3日に開催されました。10月19日に行われた料理研究家である堀田裕介さんによるワークショップでは、鹿の肉や祖谷のそば粉など三好市の食材を使い、まな板を組み合わせたキャンバスに東祖谷の落合集落やかずら橋、池田町内の風景を料理の盛りつけにより見事に表現されました。参加者は思い思いに写真を撮った後、みんなでおいしくいただきました。



## 絵本で母の愛を伝えよう



絵本の読み聞かせの大切さを知ってもらおうと11月1日、三好市学校支援ボランティア協議会による講演会が池田総合体育館で開催されました。講師を務めた鳴門教育大学の余郷裕次教授は、「絵本には養育者（母親）にしてもらったことが書いてあり、子どもたちが成長する上で大切なメッセージが込められています。淡々と読むのではなく、書いてあるとおりにイメージを膨らませて読むことが大切」と話され、参加者は絵本の効能や読み方の基本テクニックなどを学びました。

## 心一つに 学校ダンス発表会



ダンスを通して身体を動かすことの楽しさや自己表現力・協調性などを育もうと10月9日、学校ダンス発表会が池田総合体育館で開催されました。63回目を迎えた今回、県西部の幼稚園から中学校までの16校・園合わせて約470人が出場し、練習の成果を披露。今年休校となる川崎小学校の全校児童8名も運動会で踊った「ようかい体操第一」などのプログラムを発表し、全身を使った演技や笑顔あふれる表情に大きな拍手が送られていました。

## 大歩危駅にらぶらぶベンチ



今夏の台風の影響を受けた大歩危・祖谷地区に観光客の誘客を図るキャンペーンの一環として10月1日、JR四国が大歩危駅に「らぶらぶベンチ」を設置しました。ベンチは幅1.5m、奥行き0.6m、高さ1mのヒノキ製で、座面が中央に向かってなだらかなV字となっているため、2人で座ると自然と中央でくっついてしまう設計で、坪尻駅にも設置されています。この日行われた除幕式には吾橋小学校の児童も参加し、早速ベンチの座り心地を確かめていました。

## 三好市の秋の味覚を全国へ発送

三好市の秋の味覚をお届けするふるさと小包の発送作業が10月23日、市分庁舎で行われ、新米、源平いも（ジャガイモ）、天然はちみつ、とうふしょうゆなど特産品9品目が、市出身者など全国255人に向けて送られました。また、今回市観光課からのプレゼントとして、一日市長を務めた三好市観光大使の北山たけしさんが歌うCD「有明海」も同封されました。同会では、年末にもふるさと小包の発送を予定しています。お問い合わせ先▽三好やまびこふるさと会（☎ 72-7645）

